

ベナン月報(2015年11月)

主な出来事

【内政】

- 14日、ヤイ大統領はダントツパ市場復興・再開発計画の起工式に出席した。政府は本計画開始に当たり、ヤイ大統領3000万 FCFA、首相及び副首相500万 FCFA ずつなど、政府関係者の個人寄付をはじめとして、5億 FCFA が政府により確保された。一方、政府はドナーに対し30億 FCFA の支援を求めている。
- 26日、与党 FCBE は、党の大統領候補はザンス首相に決定されたことを発表した。

【外政】

- 9日より日本・横浜市の代表団がコトヌ市を訪問し、ソグロ市長などに迎えられた。ソグロ市長は佐藤祐文日本アフリカ友好横浜市議員連盟会長が務める同代表団とさらなるコトヌ市・横浜市友好関係の推進を図った。
- 18日、コトヌ市で草の根文化無償資金協力「たけし日本語学校増築計画」の署名式が行われ、塚原駐ベナン日本大使及びゾマホン在京ベナン大使が出席した。

【経済】

- 国際連合貿易開発会議(UNCTAD)の報告書によると、2015年の対ベナン海外直接投資(FDI)は3年連続で最高額を更新し、3.77億ドルとなり、UEMOA 諸国ではニジェール(7.69億ドル)、コートジボワール(4.62億ドル)に次ぐ3位。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matin Libre 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙および Le Monde Afrique 紙電子版の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 1日、10月31日に発生したダントツパ市場の火災に関して、ヤイ大統領は被災者の代表団を大統領府に招き、意見を交換した。閣議により、3か月以内の復興および再開発、被災者に対する支援が決定された。(2日、La Nation 紙)
- ・ 3日、高等視聴覚通信局(HAAC)は、情報通信法及び報道倫理法に違反しているとして、当地日刊紙 Le Matinal 紙の発行差止処分及び編集長の逮捕を請求した。(5日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 5日、ヤイ大統領はケレク(M.Mathieu KEREKOU)前大統領の国葬を12月9日～12日の日程で実施することを発表した。(6日、La Nation 紙)
- ・ 14日、ヤイ大統領はダントツパ市場復興・再開発計画の起工式に出席した。政府は本計画開始に当たり、ヤイ大統領3000万 FCFA、首相及び副首相500万 FCFA ずつなど、政府関係者の個人寄付をはじめとして、5億 FCFA が政府により確保された。一方、政府はドナーに対し30億 FCFA の支援を求めている。(16日、La Nation 紙)
- ・ 17日、サッカー・ベナン代表チームがブルキナファソに敗北し、2018年サッカーワールドカップ予選敗退が確定した。(20日、L'Événement Précis 紙)

- ・ 19日、ゾマホン在京ベナン大使がケレク前大統領宅を弔問した。(20日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 19日、ベナン各コミューンの市長などで構成される国内コミューン協会の会長に、アトロポ(M.Luc ATROKPO)現ボイコン市長が選任された。また、ソグロ(M.Léhady SOGLO)コトヌ市長がミレニアム開発目標担当理事に選任された。(20日、La Nation 紙)
- ・ 21日、閣議でバチヨ(M.Samuel BATCHO)コトヌ自治港代表の人事異動及びその後任にアザリア(Mme.Naomi AZARIA HOUNHOUI)零細融資担当大臣が就任することが決定された。(23日、La Nation 紙)

【大統領選関連】

- ・ 7日、イヌオ(M.Mohamed Atao HINOULO)コトヌ市会議員が党首を務める政党 Résolution Atao は、同議員を来年2月の大統領候補に選出した。(9日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 22日、ラフィア(M.Sacca LAFIA)前 COS-LEPI 委員長が党首を務める政党 Alliance Soleil は、来年2月の大統領選挙におけるタロン(M.Patrice TALON)氏支持を公式発表した。(23日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 26日、与党 FCBE は、党の大統領候補はザンス(M.Lionel ZINSOU)首相に決定されたことを発表した。(27日、Le Monde Afrique 紙電子版)

【治安】

- ・ 8日、ダッサズメ市のパウィニャン地区で長距離バス会社コンフォート・ラインのバスが横転、乗客1名が死亡、8名が重軽傷を負った。(10日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 9日、パラク市で大量の違法薬物を所持した男性が逮捕された。これらの薬物は、風邪や性功能不全などの市販薬として販売されており、興奮作用等の為効果があるように見えるものの、長期的には健康を害するもので、警察は注意を呼びかけている。(10日、La Nation 紙)
- ・ 12日、2005年のトーゴにおける政治混乱の際にベナンに亡命したトーゴ人らが、コトヌ市においてベナン政府に政治難民認定を求めるデモを行った。(13日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 13日、ダントツパ市場付近の米販売店に武装強盗が押し入り、1名が死亡、2名が重傷を負い、数100万 FCFA が持ち去られた。逃走した強盗団は2名から6名で、銃で武装していた。(16日、L' Evénement Précis 紙)
- ・ 17日夜、コトヌ市カジェウン国際空港で約3時間の停電が発生し、19時頃到着したブリュッセル航空の飛行機は暗闇の中での着陸を余儀なくされた。停電の原因は電力公社(SBEE)の送電設備の故障によるもので、さらに空港の発電設備も作動しなかった。(18日、L' Evénement Précis 紙)

【外政】

- ・ 4日、塚原駐ベナン日本大使はトッフオ市コリ中学校に於いて草の根無償資金協力案件「コリ

中学校増築計画」贈与契約署名式に出席した。(5日, La Nation 紙)

- ・ 9日より日本の横浜市の代表団がコトヌ市を訪問し、レハディ・ソグロ市長、ニセフォー・ソグロ(M.Nicéphore SOGLO)前市長、バチョ・コトヌ自治港代表などに迎えられた。ソグロ市長は佐藤祐文日本アフリカ友好横浜市議員連盟会長が務める同代表団とさらなるコトヌ市・横浜市友好関係の推進を図った。(12日, 各紙)
- ・ 13日にパリで発生した連続テロ事件を受け、14日にザンス首相をはじめとした政府代表団が、16日にはヤイ大統領が在ベナン仏大使館を弔問した。(16日・17日, La Nation 紙)
- ・ 17日、コトヌ市で第3回ベナン・EU 政策会議が開催され、ヤイ大統領が出席した。会議では安全保障、経済協力、開発、移民問題、環境問題などが話し合われた。(18日, La Nation 紙)
- ・ 18日、コトヌ市で草の根文化無償資金協力「たけし日本語学校増築計画」の署名式が行われ、塚原駐ベナン日本大使及びゾマホン在京ベナン大使が出席した。(19日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 米経済誌フォーブスは、同誌11月号で初めてフランス語圏サブサハラアフリカ長者番付を発表し、ベナンからはタロン氏が15位(資産4億ドル)、アジャボン(M.Sébastien AJAVON)経団連会長が17位(資産3.5億ドル)にランクインした。(6日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 4日、当地運送会社(飲料やガスなどを配送している)アレシュは、中国 Forland 社製中型トラック120台の購入記念式典を実施した。アレシュと Forland 社は数年来提携しており、今回の購入資金30億 FCFA はアレシュの自己資金によって賄われた。(5日, L'Événement Précis 紙)
- ・ 6日、アフリカ商工業銀行(Banque Africaine pour l'Industrie et le Commerce/BAIC)が設立され、式典にヤイ大統領とクチェ(M.Komi KOUCHE)財務大臣が出席した。BAIC はベナン生まれの銀行で、ベナンにおける投資活動を推進する目的で設立された。(7日, La Nation 紙)
- ・ 国際連合貿易開発会議(UNCTAD)の報告書によると、2015年の対ベナン海外直接投資(FDI)は3年連続で最高額を更新し、3.77億ドルとなり、UEMOA 諸国ではニジェール(7.69億ドル)、コートジボワール(4.62億ドル)に次ぐ3位。(12日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 15日、2015-2016年の綿花が収穫され、バニコアラ市で行われた流通開始式典にヤイ大統領が出席した。今年の収穫量は32.4万トンで、前期の39.3万トンから7万トン減少した。主な原因は、今年の播種期に発生した干ばつによるもの。また、ウィダ・トラクター工場で生産された最初のトラクターの展示が行われ、ヤイ大統領より優秀綿花生産者に対し計97台のトラクターが贈られた。(16日, La Nation 紙)
- ・ 18日、「女性起業家支援信金(CAEF)」の引渡式が行われ、ヤイ大統領が出席した。この信金は、起業を志す361の女性グループ1000人に対し、政府が年利6%で資金を貸し付けるもので、初回の貸付額は約1.3億 FCFA。(19日, La Nation 紙)
- ・ 19日、英企業 Genesis Energy は、ベナン政府との電気売買契約に署名した。これにより、同

社が参加する合計120Mw の電力供給計画の開始が可能になる。まず、コトヌ市近郊のセメ地区に建設予定の20Mw の発電所の建設工事が数日中に開始される予定。(20日, La Nation 紙)

・ 26日, 当地通信会社ベナンテレコム社による LTE 回線の導入及び「IT・通信網開発プロジェクト(PDI 2T)」の起工式が行われ, ヤイ大統領及び中国の代表団が出席した。本プロジェクトは光ファイバーによる通信回線をベナン全土に整備するもので, 中国エクシム銀行による400億 FCFA の貸し付けによって実施される。(27日, La Nation 紙)

(了)